勞働婦人

第二十一冊

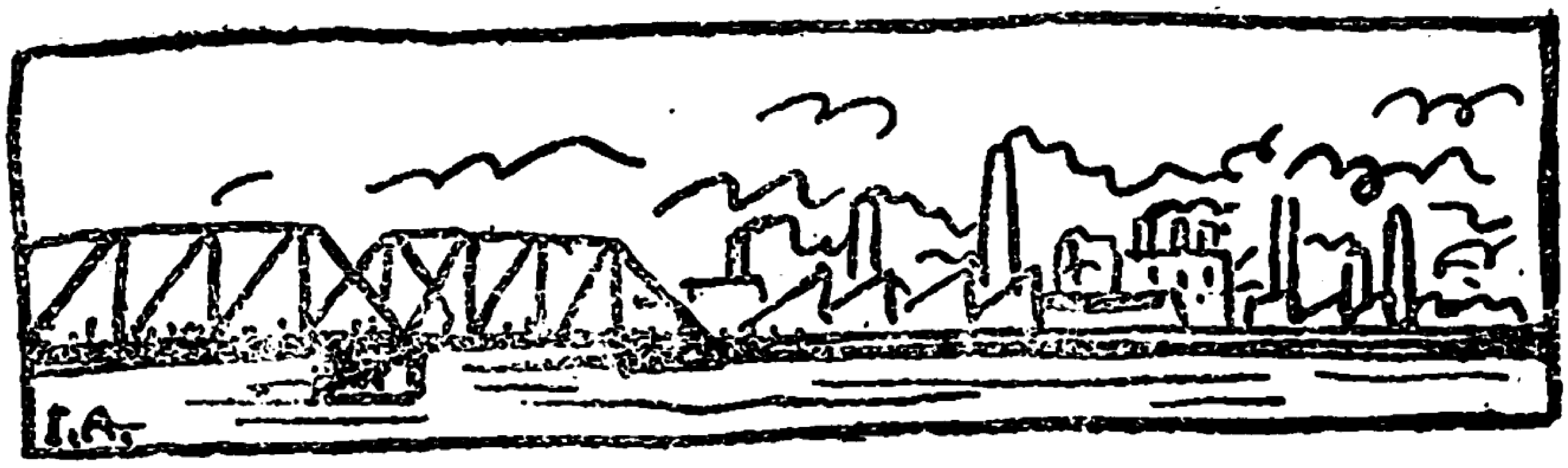
日本勞働總同盟

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

勞働婦人第二十一册目次

◇田中內閣倒る……一
◇勞働婦人と消費組合運動……二
◇最近の問題……四
◇寫眞のページ……六
　―歌と詩―
◇歌はぬ歌……一〇
　―深夜業廢止後の時間割―
◇工場の中より……一四
　―仕事の暇に―
◇勞働講座……一八
　―主婦の覺え帳―
　―ものはづけ―
◇家內工業は幼年工を虐使してゐる……二二
◇勞働小品集……二四
　―甲州紀―
◇組合旗の下に……二八
　―生活記錄―
　―勞働笑話―
◇最後に勝つ者……三二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA



田中内閣倒る

諏訪湖畔
岡谷の工場地に降り注ぐ初秋の雨は
さむ／＼と幾萬の女工の胸にしみ渡り
あを白き憤怒は寄宿の窓に燃ゆる

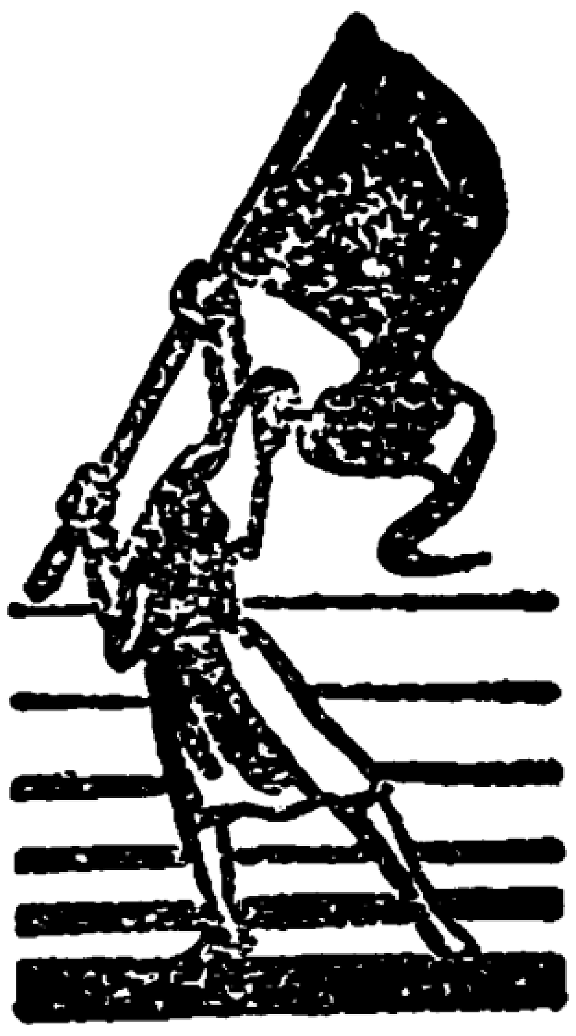
× ×

あゝ昭和二年九月中ごろ
千三百人の幼きわが友が
泣きわめきつゝ工場を追はるゝ時
降りしきる雨とともに
むち打ち、泥靴もて踏みにじりたるは誰ぞ！

× ×

田中反動内閣遂に倒る！
あゝ苦難に色あせたる組合旗もはためき
彼女らの小さき胸にも
「萬歳！」の聲はあがる！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA



勞働婦人と消費組合運動

私は先日、山梨縣東八代郡錦村の産業組合を訪ひました。この組合には、長い間農村にあつて、豐富な經驗と驚くべき熱意とを持つてこの産業組合運動に、獻身的に働いて居られる大鷹貴祐氏（社會民衆黨山梨縣會議員）がゐられます。色々御話を聞いてゐる中、次のお言葉は、痛く私の胸にこたへたのであります。

「私は過去に於て、婦人が無自覺だつた爲に、消費組合の苦しい經驗をなめた事があります。消費組合が成功するのも、壞れるのもたゞ、一家の財布の紐を握つてゐる婦人の心の向き方一つで決るものであります」

▽ ▲

誠に消費經濟を預つてゐる婦人が、その重要な立場に目覺めず、御用聞にまかせたり、勝手な小賣商人につけこまれしてゐては、殊に勞働婦人が、表口では組合の團結力で、賃銀の値上げをしても、裏口から、高い値段で物を買はされて金が流れ出る樣では、結局私達の生活に明るい光はさゝないでせう。

▼ ▲

消費組合とは、この裏口から流れ出る金、つまり個々別々に高い小賣商人から品物を買ふ事を止めて、御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

互に資本を出し合ふて經營する自分達同志の店の事であります。收入を增す爲の賃銀値上げ運動を、勞働組合の組織力で戰うのと相俟つて、支出を減する爲の運動を消費組合の組織力で築いて行つてこそ、始めて勞働階級の生活は向上して行くでありませう。

▼　▲

今日の資本主義商業制度は、品物を作り出す勞働者と、そしてその品物を買つて使ふ消費者――つまり勞働者が、一番痩せ細つてゐて、その中間に居る資本家、仲買、問屋、小賣商人と云ふ仲間がだん／＼肥え太つて行く、實に不公平な制度であります。消費組合は、消費者の立場から、この惡制度を改革して行く爲に、品物が直接生産者から消費者へ渡る樣にして、中間の手數料を省くのでありますから、それ丈でも安くなる譯であります。

▼　▲

我が日本勞働總同盟は、すでに早くこの消費組合運動を熱心に宣傳し、實行して居ります。現在では各地の勞働組合又は支部を基礎にして十二個の消費組合を經營して、それ〴〵成績を上げて居ります。近く紡織洲崎支部にも設立運動が起され、製鋼小倉支部婦人部も全員組合加盟の決定を見ました。

▼　▲

勞働階級が消費者の立場から、自分の利益を守り、併せて資本主義制度の改革に進むこの消費組合運動は、全勞働者の裏所から叫ばれなければなりません。財布の紐を握る手にも「團結旗」が揭げられてこそ、私達の新らしき社會はより早く建設されるのであります。

（赤松常子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

最近の問題

資本家本位の民政黨内閣出現

—無產者に儉約を強ひる—

この七月四日政友會内閣が倒れて、民政黨内閣が出現しますと、國民はホット、吐息をつきました。と言つて、民政黨が國民に信頼を得てゐるわけではなく、只政友會なるものがめちやめちやな惡政を施き、しかも黨及び黨人の利益、榮達の前には國民を犠牲にすることを大びらにやつたからであります。それにも一つは、あの内閣は不死身内閣と人に言はれたほどで、公明な政治の責任上から言へば、もう何度も倒れてゐなければならないのに、誰がなんと言はうと、政權にかぢりついて、いつかな退かうとしなかつたので、餘計、國民は、早く政友會内閣の倒れる日を待こがれたからです。こんなわけで、國民は不死身内閣がやつと倒れたのを喜びましたが、之に代つた民政黨内閣なるものも、政友會内閣ほどのめちやくちや惡政はしないでせうが、それかと言つて、決して我々の信用すべき内閣ではありません。と云ふのは、この民政黨は、昔から、資本家を擁護するので有名であります。政友會が重に地主階級の利益を擁護してゐるに對して、この黨は資本家を保護してゐます。たとへば税金の取り方でも、資本家には割安にしても、小商人や、小俸給取り勞働者など卽ち勤勞無產階級には割高の税金をかけて、苦しめて來たのです。

たとへば此度にしても組閣早々、緊縮政策と言つて、國民全體に、國家の爲とあつて、大節約をすることを宣傳して、自分達も自動車に乗ることを止めたりして國民にモ●●●ハンを示したと云つて居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

この節約も決して必要でないことはない。大いに必要であります。然し節約は節約の出來る人達の範圍に限られるべきであつて、卽ち資本家のみに限られるべきであつて、決して、働いても働いても樂にならない生活をしてゐる無產階級に强ひることではありません。事實、無產階級に、どんな節約が出來ませう。我々とても、出來るなら節約をして、貯金もして、不時の入費にあてたいと心がけてゐるのだが、さて實際は、此の不景氣續きで生活に足りるだけの金が入らないで、四苦八苦であります。今の大藏大臣の井上なんて人は國民が無駄使ひせず約節すれば生活難なんかないとバカな小學校一年生のやうな甘い考へでゐるのです。

我々の生活になんの無駄使ひがあるか。たとへば女工さんは無駄なお小使を使つて買ひ食ひをすると言つて攻擊しますが、この買ひ食ひも實は工場主が營養のあるものを滿足に食べさせない爲、生育盛りの婦人には、當然起る悲慘な事實と判明したほどですから、この買ひ食ひでさへ無駄でないとすればどこにまつたく節約すべきものがありませう。

この節約宣傳で、資本家は、えたりかしこしと國家の爲と稱し、實は自分の利益の爲、勞働者の勞働時間を延長したり、賃銀を下げたり、或は剩員陶汰と馘首をやるでせう。修養團や處女會や、青年團やの如き奴等は泣き落し、笑ひ落しで、勞働者を口說き、國家の爲と稱し資本家の犧牲になることに甘じさせようと企むでせう。

要するに、この民政黨內閣の國民全般に宣傳する「節約」なるものは實は、資本家のみがやるべきです。いかに反民衆的、特權的ブルジョア本位の內閣であるかゞ解るでせう。

（重廣虎雄）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

岳南勞働會館（紡織沼津支部會館）は清水村地主が、土地不貸同盟を作つて妨害をしたにもかゝはらず。幸にも他村の地主の持地あるを發見して、工場を離るゝ一町の地に九十坪を購入した。七月二十一日に地鎭祭を擧行し。八月廿五日に落成の豫定である。我等の家、學校を持つ事によつて、紡織沼津支部の威力は一段と發揮されるであらう。

（寫眞は地鎭祭）

歌と詩

朝顔

製綱小倉支部　山本孝惠

朝咲きてひと日もてなん朝顔も垣根に辿りけなげにも咲く

いまだ見ぬ友の情に惠まれてかたく結ばん團結の實を

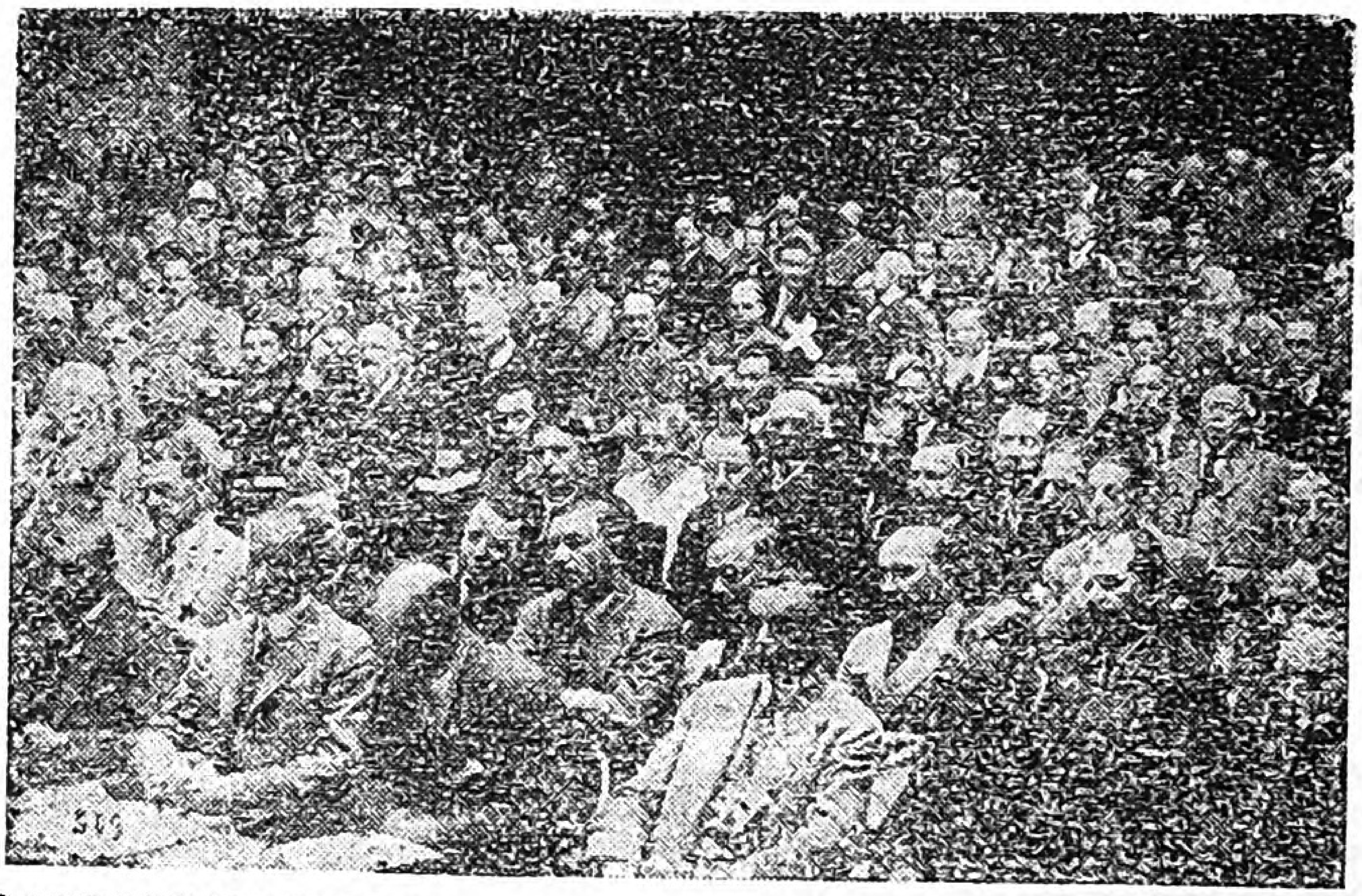
日に月に組合熱のたかまりぬ同志の姿雄々しこのごろ

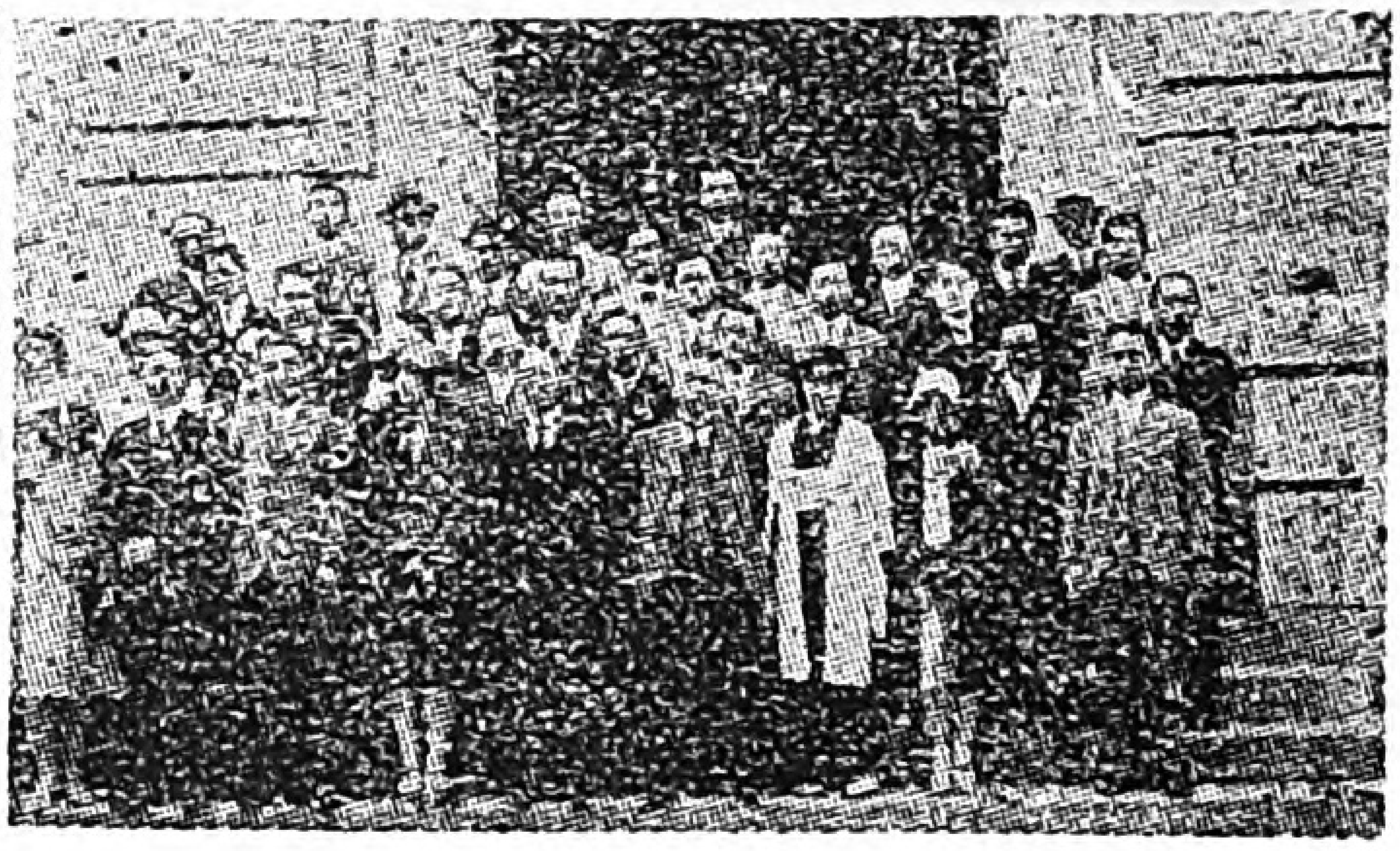
同志よ進まう

紡織沼津支部　佐瀧はなゑ

陽の昇る樣に
我支部の伸び行く姿よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA





上圖　第十二回國際勞働總會議場
中央の×下は松岡代表
下圖　ジユネーブに於ける、日本の勞働、資本、政府各代表及顧問

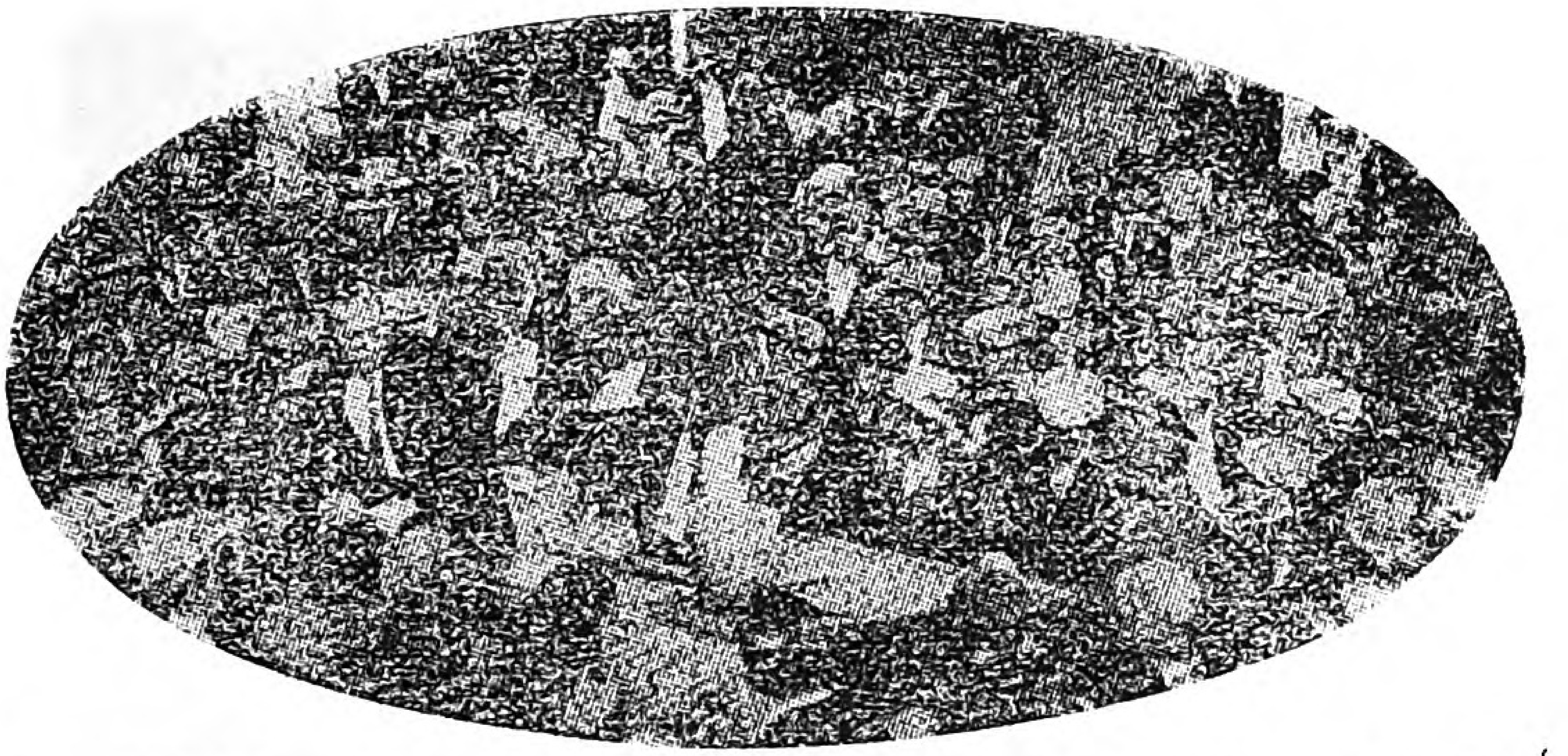
組合旗を支ふる腕は
我等の組める手
あゝ同志等よ！
ひたすらに進まう！

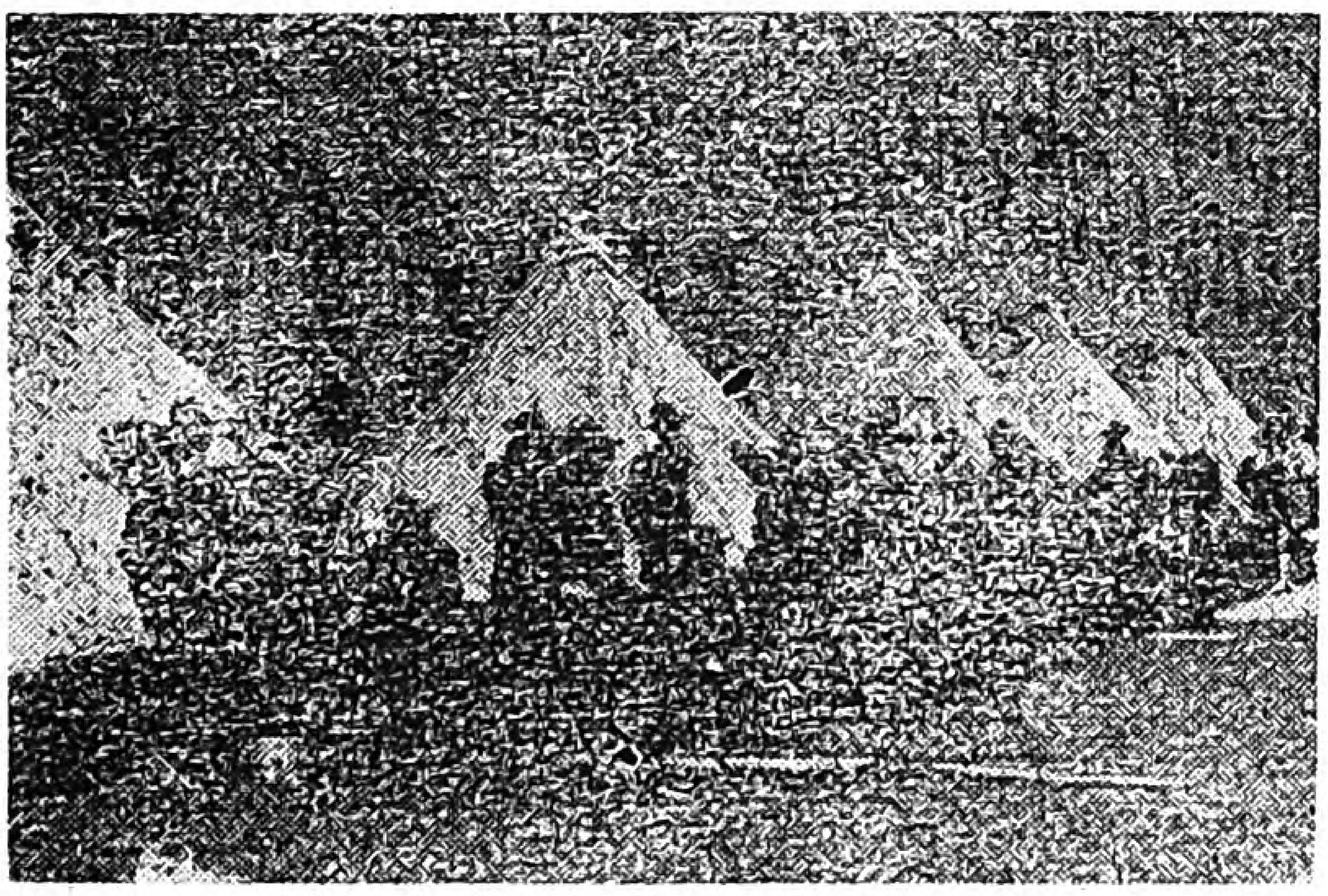
私は淋しい

中國紡織福山支部　池田トヨ子

何もかも
わたしは淋しいの
國へ送る金が少くなつて
母はどうしてゐるだらう
窓の下で
もう虫が泣いてゐる……

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA





三月中旬から五月末に亘つて米國南部各州に紡績爭議が起つた。上圖はガストニヤ爭議に於て、婦人鬪士の激勵演說、下圖は同じく同爭議に於て工場を守備する軍隊

深夜業廢止後の時間割

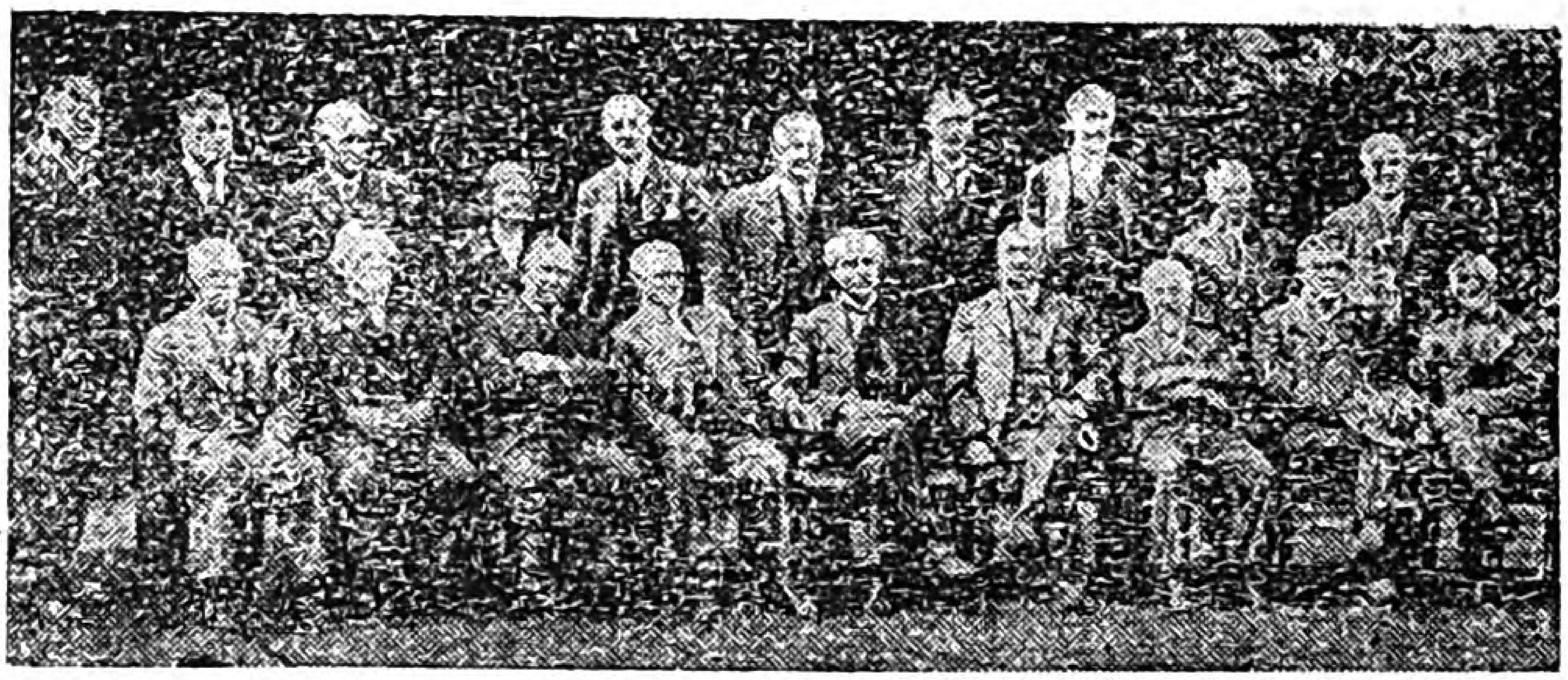
紡織保土ヶ谷支部 上村かつ子

富士ガス紡保土ケ谷工場では、深夜業が止まつて、一週間經ちました。寄宿で發表した時間割を左に掲げます。私達は折角餘暇が出來たのでいろ〳〵と自分の爲の勉强を仕度と思つて樂しみにしてゐましたが、仲々自由な時間が得られませんので寄宿は皆不平です。

寄宿舍餘暇時間割

前番 起床……午前四時
就業時間…午前五時ヨリ午後二時迄
朝食……七時半ヨリ八時迄
晝食……二時ヨリ二時半迄
美化作業國民體操……午後三時ヨリ午後四時マデ
入浴…午後四時ヨリ午後五時半マデ
修養時間……午後五時半ヨリ午後七時マデ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA



上圖　英國勞働黨内閣の陣容。前列中央マクドナルド首相。後列左より四人目ボンドフイールド勞働大臣。

下圖　八十餘日のアメリカ視察旅行を終へて、七月十九日、社會民衆黨中央執行委員長安部磯雄氏夫妻は元氣よく歸朝された。

夕食……午後七時半ヨリ八時半マデ
就寢……八時半

後番
起床……午前七時半
朝食……午前八時ヨリ八時半マデ
美化作業國民體操……午前九時ヨリ午前十時マデ
修養時間……午前十時ヨリ正午マデ
晝食……午後一時半ヨリ午後二時マデ
就業時間……午後二時ヨリ午後十一時マデ
入浴……午後十一時ヨリ午前十二時迄
就寢……午前十二時半

晝番
起床……午前五時
美化作業國民體操出動準備……午前五時ヨリ午前七時マデ
朝食……午前七時ヨリ午前七時半マデ
就業時間……午前七時半ヨリ午後四時半マデ
入浴……午後五時ヨリ午後六時マデ
夕食……午後六時半ヨリ午後七時マデ
修養時間……午後七時ヨリ八時半
就寢……午後九時

交代日外出時間
全休日　午前六ヨリ午後九時マデ
出番休業日
前番……午後二時ヨリ午後九時マデ
後番……午前六時ヨリ午後九時マデ
晝專……午前六時ヨリ午後九時マデ

診察時間
前番……午後二時ヨリ四時マデ
後番……午前九時ヨリ十一時マデ
晝專……午後四時半ヨリ六時マデ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

仕事の暇に

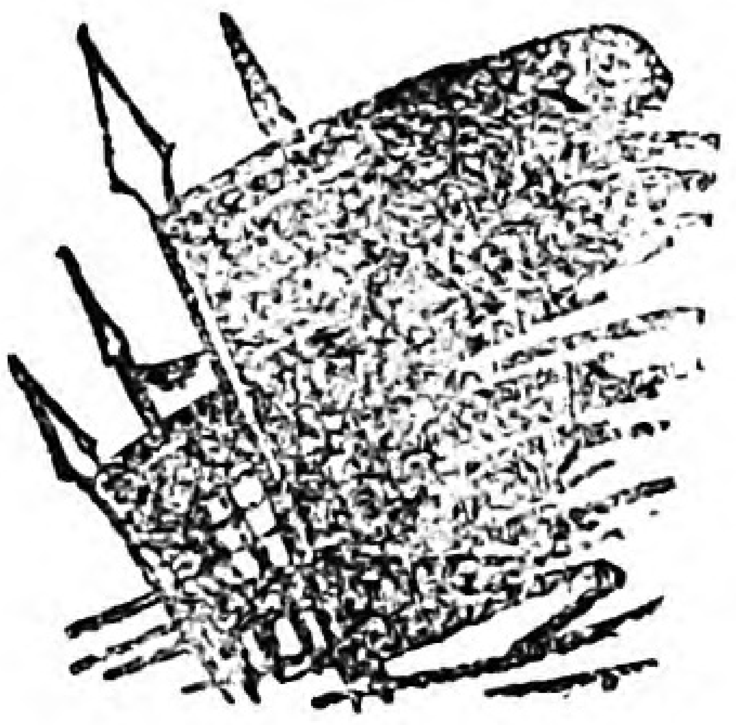
私の工場の賃銀

三年に一度の昇給

中央合同中崇火工支部　橋本その

私の工場は京京府下にある火薬製造工場です。主に鑛山用の火薬を作ります。あぶない火薬を扱ふので、人里はなれた山の中にポッツリ工場が建つてゐるのみです。

こゝでは女工は主として、綿火薬をつめる管を立てる所（管立てと云ふ）や又その管を脱す（脱管と云ふ）所に働いてゐますが、近



随筆

歌はぬ歌

木村盛

◇

びん々々と鈍く重い弦を弾いて、近家の巫子が口よせをするのを、幼い頃怖ろしい音に聞いたものだつたが、その時母親がランプの灯影で、微笑みながら語つて呉れたのは、斯うだつた。

『狐を生捕つて首丈け出した土埋めにして、竹棹から糸につるした魚肉を、狐の鼻先にぶらさげると、空腹と喰べたさに一心になつて、首が段々長くなる。が喰べたい心が強くなる程に、遂には死んで失舞ふ。此狐の靈が竹棹に乗移つたのを弓にして、びん々々鳴らしては、巫子が口寄せをするのだと』今にして思へば母の微笑みも解るが、その頃は眞に神秘的だつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

年では、男工と變らない仕事につかせられます。即ち親指位ある管の中に綿火藥をつめる仕事ですが、今迄この仕事は危險なので男ばかりでしたが、女もどし／＼使はれる樣になりました。もつとも工場に七年も十年もつとめた熟練女工に限られますが、男子に比して賃銀が安くてよいので、會社の儲けになるからだと思ひます。平均して同じ仕事をして男工一圓三十錢女工一圓です。昇給は三年に一度三錢位です。この五年間一錢も上らない人もゐます。賞與はたつた一日分。一日十二時間勞働で、晝三十分丈休み、午前も午後も休

◇

生物、生捕り、生埋め、喰物と動物、喰べられぬ不自由、全身心のやるせなきもがき、死、そして魔靈の神秘。これが闇夜の空氣をふるはして、白衣の巫子の小さな家から響いて來るんだから、小供心はとてもたまつたもんぢやない。

だが、我信賴する母の傍にあり、さゝやかなれどランプの灯あり、爐灰に薯の燒けんとするあり、天下何物か我れ恐れじの心。其所に幼者の小宇宙が在る。

善惡の社會的道念、鬪爭、生物本能、經濟的社會的拘束、眞理の追求、これは然し今でも、今後も變らで育つて動くだらう。只問題は、『何がそれであるか』だ。

◇

每年炎熱の八月、想ひ出しては何時しか淚ぐむ史實がある。『國體交涉權を認めよ』の長旒が勞働運動の先端のスローガンとして初めて日本史に現れ、鮮血と生命が祭壇に献げられたその事た。大阪電燈、藤永田造船所等にストライキの烽火が揚つたと思ふ中に、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF IOWA

慇なしです。時々縣の工場監督官が視察に來ますと、前もつて皆に注意して工場規則違反隠をします。この工場は、天下の財閥松方一家の經營で、多くの會社を經營してゐるが、大分失敗してゐるので、この工場から利益を上げて、その穴埋めにしてゐると聞きました。そして工場長はいつも『不景氣だ不景氣だ』と口癖の樣に云つて豫防線をはつて待遇改善をさけようとしてゐます。いつも危險の前に生命を投げ出して働く者にとつて、あまりにみじめな賃銀ではありませんか。

神戸川崎三菱造船所に渉る阪神一帶のゼネラルストライキ。

あれは大正十年猛夏八月、罷工人員六萬人、家族を合して約三十萬人の物凄い生存主張が、水銀柱の登るまゝに、そして狂暴な資本家の彈壓のまゝに集つて、遂に湊川の楠公社前に於ける大示威行列が、これを彈壓せんとするものとの正面衝突を起した。暑い暑い日だつた。

◇

數萬の群集が渦を卷いて、熱氣、砂利、土煙り、血、白服、紅ゐの旗、劍光。聲＝否絶叫と謂ふか、常峯君が刺されたのはあの時だつたらう。人か地か甲かBか、肉が觸れるとヌラリと滑るか、コチンと鳴つた丈けは知つて居る。

其頃爭議團本部は＝元の關西同盟會が主體となつて、團長は賀川さんだつた＝幹部廿九名總檢束。そして其まゝ未決監へ拘束された。そこで總同盟本部は此爲め特に神戸に統制本部を決死的に進めたが、慘たる陣營と戰場に相對立する資本主義の行手を見極めて、史上嚴として輝くあの有名な『慘敗宣言』を發したのである。慘めに敗けたと敢然と宣言したのだ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

爭議後はよくなつた

東京鐵工本所第二支部　丸山喜枝子

私の工場は自轉車の部分品を作ります。婦人は鎖をこしらへます。大體〝ひようたん〟拵へと組み立ての二部に婦人は分けられます。素人でもすぐに出來ます。〝ひようたん〟拵へと云ふのは鎖の一つ〳〵を機械で作り、組み立てはそれを環に組み立てるのです。朝七時から午後四時半迄（晝食三十分）働いて平均一圓二十錢乃至三十錢です。受負ですから食事時間もゆつくりしないで氣狂ひの樣に機械にへばりついてゐます。爭議後大體に於て賃銀はよくなりました。

◇

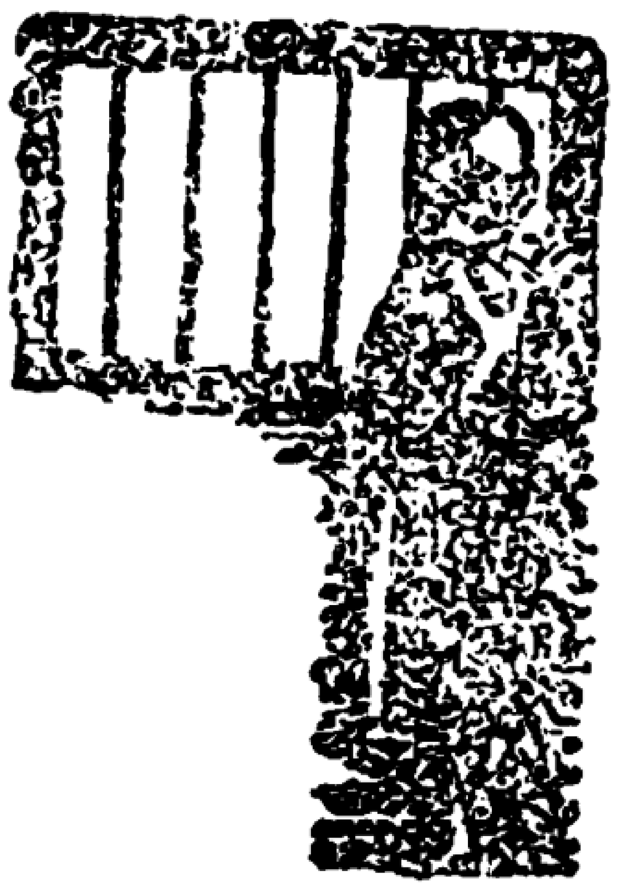
戰友常峯君の棺は、組合旗と本部旗に包まれて、葬送五萬の同志の黑き汗と赤き淚に肅然と送られた。鈴木會長熱淚語を斷つ追悼の辭。綴られたる名記念歌が天地震ふ團結の聲に歌はれた。作者赤松君が聲無くして立つ姿。それ等も早や十年の昔となつても、夏來る每に、炎熱百度の火炎の中から、押へがたき叫びが、そゝり起るのである。

あの時、橘分監に收容された賀川さんが、獄中に脫稿したのが、有名な『死線を越へて』であり、又慘敗記念歌は、勞働歌集に收められて居る。そして『團體交涉權』は、今や漸やく社會的に認められて來た。楠公社前の鋪道に、銅版を埋めて、何時の日にか斯う記したらと思ふ。

『大正十年八月勞働者團結權の爲めに同志此所に鬪ひ斃る』

あの記念歌は僕は歌ふ氣になれぬ。否。歌ふ氣は常に涌く、が、讀んで想ふてさて歌へないのだ。巫子の弦音を聽く樣だからかも知れぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



工場の中より

一隅より

小國紡織福山支部　荒木雪子

或る日紡織工場の休憩時間

修養團女工

「今日はいつもにない休憩が長いねえ」

勞働組合女工

「それはねえ。こないだ組合の高橋主事が、こゝの工場は規定の休憩をさせて居らんと云ふて、縣の工場課や警察に抗議に行つたからよ」

修養團女工

「それは有り難いこつちや」

と手を合せて拜む。

勞働組合女工

「そいだから組合に御はいりなさい」

修養團女工

「組合に入りたいが、賃が安いから會費がかけられんから……」

と云ひました。目覺めかゝつてゐる仲間を、私達は熱心に說いて組合へ入る様にすゝめてゐます。

窓の下にて

東京電氣從業員組合　望月はな

工場の中で、私達に一番樂しみなのはお晝休み。私は工場の窓を明けて一人表を眺めてゐた。まぶしい日の光は額に照りつけていつの間にか夏は來た。炎々と燃える苦熱の夏。大きな建物の間のひよろ高い植木の蔭も濃くなつた。油汗のにじむ烈しい暑さを避けて、海濱の別莊に、山間の溫泉に遊び狂ふブルジョア令孃の姿が目の前にちらつく。其時ふと慌しく鳴り渡る汽笛の音に胸うたれ窓を離れ

て後を向けば、中は眞暗で何も見えない。足下あやうくまご〳〵してゐれば、又も響くモーターの音。だん〳〵目が冴えた。さあ其處に見えるのは何であらう。黒い機械は電燈に氣味惡く光つてゐる。我等は日夜この惡魔の光にくらまされ、恐い監督に睨まれ、春が來ても夏が來ても、地獄で働かなければ生命がつなげないのか？世の中の幾多の幼年女工の上を思ふと、夏は尙更胸が張りさける計りである。せめて優しい婦人工場監督でもゐるなら少しの慰めにもなるであらうがと思つた。然し暗い工場に赤く輝くものがある。それは正義の赤旗。我等の同志愛は燃えてゐる。私は涙をふいてメーデー歌を高らかに、スイッチを入れた。組合旗のなびく所に我等は戰をいつもつゞけやう。

欺れるな

紡織沼津支部　野瀬菊子

資本家と云ものは、何かと云ふとぢきに恩にきせたがる者です。止むを得ずストライキを斷行すれば、「犬も三日養へば主の恩を忘れず」なんて云ひ出します。私達はこの恩に着せる言葉を大いに警戒しなければなりません。其の主たる者の富を作り出す者は誰れぞ！私達勞働者ではありませんか？私達勞働者が居なければ、有產階級の人々は無くなると云つていゝと思ひます。働く者の大なる價値に目覺めて、「働かざる者は食ふ可らず」との言葉を、社會の誰もが守る樣に奮鬪しなければなりません。

街上の所感

日本總工組合　砂塚よし子

毎日工場の行歸りに、大勢の幼い同志達に逢ふ。丁度十二三歲であらう發育盛りのあの少年少女工は、工場の塵と雜音ひゞく機械の間で、黑くなつて働かされる。多く見習工であらうから、賃銀も僅

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

かであらう。私は毎日思ふ。彼等有閑ブルジョア階級の子供達に、三日間でもあの勞働生活をさせてやりたいと。充分な强勉も出來ず、たゞ小さい時から金を取る事と、變に意地を張る事のみを習つて行く小さい同志の頭は惡くなり、身體は弱くなり、そして一生涯を生きる爲に賃銀の奴隷となつて終るのだ。あゝ社會の九割五分の貧乏人階級は、生れ落ちる時にはすでに搾り取られる運命につながれてゐるのだ。この時私達勞働組合員の責任は重い。私達は將來の社會を背負つて立つ少年少女の解放を叫ぶ。充分に教育し、充分の喰物を與へ、そして人間らしい生活を獲得する爲の鬪爭は、先きに歩む者の、後に來る者への任務である私達勞働階級の唯一の力、團結組織の實力に依つて、資本主義の打破へ突進し、健實なる社會主義の建設へ力をそゝがねばならぬ。

第三回大會を迎へて

紡織沼津支部　松本まつ江

私達の沼津支部も三歳の春を迎へると共に、意氣揚々と進展して參りました。云ふ迄もなく、之は一般組合同志姉妹が、因襲的な觀念の迷夢、又は蒙昧から脱却致しまして、無産階級としての階級意識に目覺めて來ました當然の現象と思ひます。春が來やうと夏になうと、私共には何の娯樂もなく、朝な夕な牛馬の如く酷使に虐待に自由を束縛され、勉强する間も、ましてや勞働につかれた體をいやす餘裕もない私達勞働婦人です。けれども我支部は幸と日に増し姉妹は組合精神を基調と致しまして御互に益々努力し合つて參りますのは誠に心嬉しくそして心強く思ひます。随分長い年月を、何も知らずして眠つて來ました私達姉妹よ！　封建的の殼を打破して、全然閑却せられております私達勞働婦人の人格的價値を實現する爲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

に、焔の様な心を抱いて起ちませう。死守すべき赤々と紅の血に染つた組合旗を先頭にして、勞働婦人解放へ、無產階級解放へと、一人の落伍者もなく、一糸亂れない步調を揃へて奮鬪致しませう。

苦熱の底から

日本織工組合　生野光枝

此頃の工場内のこのあつさ！何と云ふ苦熱だらう。地獄の底であへぎつゝ、片手にアイロンを、片手で流れ落ちる汗をふき〳〵しなければならぬ。額から流れる汗で目もぬれてよく向ふが見えない。朝着代へた工場着は午前中でもう表まで汗でびつしよりして了ふ。午後だん〳〵熱度は上る。頭はグラ〳〵つとして前へのめりそうである。通風の窓はない。内にこもつた汗と油との匂が、熱にむされてムン〳〵してゐる。けれども私の工場は大部分受負制度である爲に、もう戰爭の樣に、この蒸し釜その者の中でも一分一秒を爭つて手を休めない。受負制度がどんなに體をいためるかを考へると本統に恐しい。しらず〳〵の中に營利の魔手に陷つて搾り取られてゐる勞働者である事に、氣をつけなければならぬ。

あつい！　實際あつい！　恐ろしい程あつい工場の機械のそばで私は山を思ひ海を思ふ。しかし私は私一人の山、海であつてはならぬと思ふ。働く者みんなが、愉快な勞働を樂みつゝ山へ海へ遊ぶ日の事を考へねばならぬ。それも自分達自身の手でやりとげなければならぬと思ふ。

勞働代表一行の歸朝

六月廿一日をもつて、國際勞働總會は終り、松岡代表は三木隨員、マクドナルド通譯と共に、イギリス、ドイツ、ロシヤを廻り、シベリヤ經由で八月廿五日前後には歸朝される豫定。渡邊宮崎顧問は、七月廿六日無事歸朝されました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

勞働婦人と組合運動

土井直作

……二……

然るに此の重要な勞働組合の結成に對して、婦人の方があまりに冷淡であつたと云ふことは決して婦人自身の罪ではなくて、それは今迄の古い道德が婦人をして、今日の如き態度をとらしめたのであると云ふことか出來る譯であります。

皆さんも知つて居られるやうに、日本の國は昔からの習慣として、婦人はいつでも弱い、無智な、柔順しいものとして取扱はれ、柔順であると云ふことが、婦人の最上の美德であると稱揚されて來たものであります。こうした事が勢い婦人をして、引込み思案にし、臆病なものにし、去勢された人間としてしまつたのであります。勿論こうしたことは、男子が婦人に對する態度に於ても、常に婦人は男子の從屬物

主婦覺え帳

キヤベツ三杯酢

葉のしんを取りよく洗ひ、ざつと茹で、細長く切り、魚の身と一所に三杯酢にすると、あつさりしておいしいものです。

罐詰の見分け方

凹んでゐるべき筈の罐の天地が、膨れてゐるものは、內部に腐つた瓦斯がつまつてゐるから不良。又罐の上下にはんだをつけた跡の見えるのも不良です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

視し、或は奴隷視して來たことにも重要な原因があると云ふことが出來るのであります。即ち婦人は社會上からは、最も弱い者として從屬物視され、男子からは奴隷視せられて、二重の枷を加へられて來たのであります。さうした結果が、女子の心を益々畏縮させ、男子の云ふことなればどんな無理な事でも默つて聞いてゐるのが貞女である。利巧な婦人である。とされて來たのです。

試みに昔の婦人に對する修養書を繙いて見るならば、「女大學」「女中庸」「女論語」「女實語敎」「女今川」「女小學」等たくさんの本の中には、女を男子の奴隷にする爲めに、或は社會の從屬物とする爲めに說かれて居る多くの敎へを發見することが出來る譯であります。

今其中の主なるものゝ二三を擧げて見ると、有名な貝原益軒の書いた「女大學」の中にある七去の敎への中に「嫁いで三年にして子なきは去るべし。是れ妻を娶るは子孫相續のためなればなり。」或は「妾に子あらば妻に子なくとも去るに及ばず。」と男が妾を持つことを公然と認め、或は「舅姑に順はざる女は去るべし。もし舅姑の仰あらば愼み行ひて戾るべからず。萬のこと舅姑に問ふてその敎に任すべし。舅姑

夏の辨當の心得は

一 煮たものよりは燒いたもの
一 容器は洗つて乾かして
一 御飯もおかずも冷めてから詰る
一 御飯の上に梅干一つ、黃粉や胡麻鹽ふるもよし

鼻血の止め方

首のまわりの着物をゆるめて、首の後を冷す。首をぐつと後にあふ向けにさせて椅子にかけさせ、兩腕を眞すぐに上にあげて鼻の上を冷すもよろしい。決して頭を下に向けて金盥へ受ける樣な事をしてはいけません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

もし我を憎み誹り給ふとも怒り恨むことなかれ。」と云ひ、更に益軒は「女は別に主君なし。夫を主人と思ひ敬ひ愼みて仕ふ可し。惣じて女の道は人に從ふにあり。……返す返すも夫に逆ふて天の罰を受くべからず」と說いて居る譯であります。なんと云ふ無法な敎へではありませんか。或は三從の敎へと云つて、「女は幼にしては親に從ひ、嫁いでは夫に從ひ、老ひては子に從ふ、これ女の三從なり身終るまで忘るゝことなかれ」と說き、「女實語敎」には、「夫婦爭ひ怒ること勿れ、理を枉げて夫に事へ」と敎へて居ります。なんと女を馬鹿にした言葉ではありませんか。更に、「女は地獄の使ひなり、佛の種を絕つ」「面は菩薩に似て心は夜叉の如し」と。こゝに至つては、いくら柔順しい婦人でも默つて居ることが出來ないと思ひます。

弱き者よ、汝の名は女なり

かうした言葉をその儘に、どんな無理な事でもジット我慢してゐなければならないやうにされて來たのが、今迄の敎へであつたのです。此の敎へが婦人の心の中に食入つて、婦人自身の持つ價値と力をおゝい隱してしまつたのであります。けれどもいつまでもこうした言葉に

ものはづけ御答へ

…樂しいものは…

入選

中央合同火工支部　飯田閑子

○作業中時計の針が過ぎ行く時の心

×

勞働婦人聯盟　鈴木あさ

○遠き田舎に居つて同志から便りを手にした時

×

紡織沼津支部　武山しげ子

○一日の作業を終へて勞働歌と共に我家へ急ぐ時

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

依つて婦人が默つて居りましたならば、何日迄たつても婦人の向上も、其の境遇の改善も行ふことが不可能になつてしまうことになるのであります。

こゝに勞働婦人の自覺の必要があり、勞働組合を作つて、それに加入しなければならない必然性がある譯であります。

人間の社會は如何なる場合でも男子と女子との協力に依つて成り立つて居るのであつて男子だけでも完全な社會を作ることも出來なければ、婦人だけでも決して幸福な社會を作ることが出來ないのであります。男女共同の力と、相互扶助の精神とが完全な社會を結成することが出來るのであります。

勞働組合は此の精神の上に立つて、婦人の向上と解放に向つて勇敢に鬪つて居るのであります。

（つゞく）

○一日勞働を終へて家内皆樂しき夕食の膳に向ふ時　製綱小倉支部　岩本なか

×

○烈しい勞働を終て我家へ歸る時　製綱小倉支部　伊藤梅子

×

○業終て寄宿に歸り机に向つた時　紡織沼津支部　佐瀬はなゑ

×

佳作

○組合の茶話會を待つ心　飯田照子

○國から手紙が來た時　島田文子

○久しぶりで國へ歸つて親に逢つた時　松村ぎん子

次の題は……今、ほしいものは……

御答はハガキで東京市芝區三田四國町勞働總同盟勞働婦人編輯係へ宛てゝ下さい。入選の方には賞品を送ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

家内工業は幼年工をこんなに虐使してゐる

社會民衆婦人同盟　佐倉せつ子

飢饉に迫まられて一片のパンを盗む者は法律に依つて罰せられ、そのパン――全ての物――を生産する人間の勞力を盗むものは却つて法律に依つて保護せられる。世の中の最も大きな罪惡と誤謬とはこゝに胚胎してゐるではないでせうか。

銀行の殿堂に立て籠り、經濟生活の動脈の獨占に依つて直接に間接に飽くなき貪慾の魔の手を伸ばし或は産業機關――工場――の獨占に依つて貧しい勞働者を、その生きんが爲のパンを餌に、不當に搾取して腹を肥す資本家達。總ての産業の機械化、大工業化から取り殘され落伍した斷末魔の封建的家内工業主、親方、勞働ブローカー等々どちらを向いても私達勞働力以外に賣る可き何物をも持たない者にとつては敵許りなのです。何時が來ても浮べないのは私達無産階級の生活です。産業の合理化と云ひ、消費節約といひ、鳴物入りの官僚の聲は耳をおほふまできかされましたが、今私達の手から直ちに口への――然も腹一ぱいには水以外には詰め込んだ事もない――惨めな生活にやつとあえいでゐる者にとつては、御馳走の話をばかり耳に蛸の出來る程きかせられたとしてもそれは呪ひでこそあれ他の何物でもないのであります。

私達同胞同志の力の一致團結によつて、資本家達の牙城に肉迫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

し彼等の手から奪はれたものを取り返すより他に私達の眞の生活はありません。私達はより強力なる團體の結成と、訓練との爲に、個々の小さな感情等は踏み越えて突き進まねばなりません。

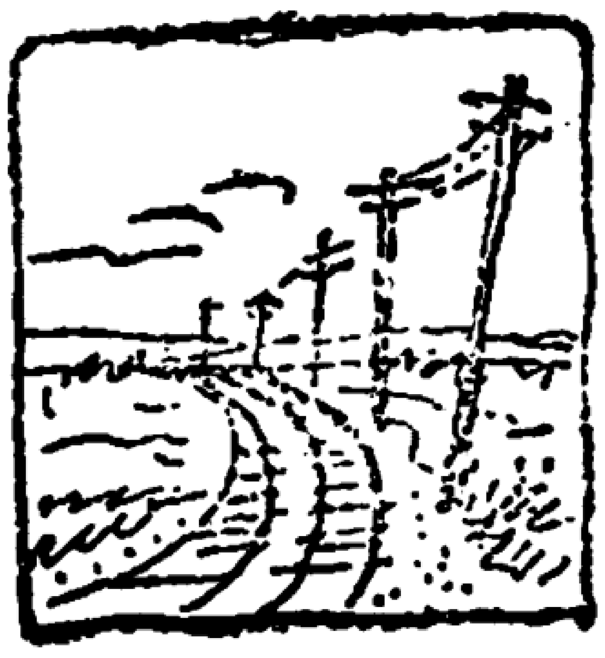
資本家階級――大工業に於ける――企業家のみではなく、家內的小工業家、勞働ブローカー等をも共同の敵として排擊して行かねばなりません。

私は最近まで、神田の或る製本折專門の小さな工場に通つて生活して居た女工であります。全集、又全集と洪水のやうに出て來る本であつても、大工業化による大量生產によつて價格が引き下られ特殊階級のみの獨占であつた書物が、私達無產階級の手にも時たま落ちて來るやうにはなつたが、その一頁、一頁に最も虐げられた少女達の、血と淚が大きく印せられてゐる事を思ふとき、彼等小惡魔階級の封建的勞働契約の思想を打破すると共に、多くの無智な少女達の爲に、機會ある每に自覺の途を與える事を等閑にしてはならないと痛切に感じさせられるのであります。

工場と呼ぶには餘りに小さな此の家には常に通勤女工は四、五人に過ぎず、主として、父を失つた者、働ても働いても一家を養ふに足りない勞働者や、近在の慘めな小作人の子供、さうした子供達が、行き詰つた一家を一時救ふ爲に、三年間僅か百圓前後の前借の金に替えられて口入屋の手から賣り込まれた者許り、十二歲から十七歲位迄の十人程の少女達から吸ひ取らうとするのが眼目なのであります。彼女等は每朝六時には仕事に就かせられます。

一日の仕事は一人當り最少五千枚から大きい子供は七千枚位を割りあてられます。(大人の慣れ切つた者で普通一時間に五百枚とされてゐます)。(つゞく)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



甲州紀

赤松常子

汽車が甲州路に入ると、桑畑と葡萄棚とそしてトンネルが入れ代り窓を掩ふた。長いトンネルからぬけ出て、さつと山峽の冷たい風が身に迫つた時の一瞬の緑は一層新鮮に目を射た。七月十五日、御盆を境に展開されてゐる全山梨縣下の町村議戰に一兵卒となつて急ぐ私。

……○……

農家の庭には、どこにも蠶座が洗ひ上げて干されてゐる。その

勞働小品

十四の縫子

紡織沼津支部　野瀬菊子

縫子の母は、五十の坂を越してゐたが、夫が死んだ後は五人の子供を養ふ爲に、工場に出て女工手として働かなければならなかつた。長女の小學校卒業を待つてせめてもの片胞となつてくれるのを樂みにしてゐた。工場の新入者に對しても親切であつた。このまゝ行つたならば彼女の家も貧しい乍ら平和な月日が送れたであらうが、あゝ月にむら雲花に風の例。

或日の事いつもの如く縫子は、豚小屋同樣の我家へ歸り、夕餉の仕度にかゝつてゐた。と。やがて

「もどつたよ」

と何時もに似ぬ元氣のない母の聲におどろいて見れば、蒼白な顔で失

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF IOWA

上に艶々と青葡萄の房がたれ下つてゐる。いかにも平和な情景ではあるが……。今年の繭の値段は少しは上つたと聞いてはゐる。しかし蠶も農村の姉妹の苦役を増しこそすれ、決して明るい約束は齎し得ないのである。

……○……

いよ〳〵甲州盆地に汽車は下りて來た。南アルプスを背に廻らし富士連山を前に控えて、その眞中に直經四里の甲州盆地が沈んでゐる。その核が甲府市。核を中心に坦々たる一望の稻田である。

そこには二番取の田の草取りに菅笠が點々と炎天の下にうごめいて心した如くに立つてゐる母を眺めた時

「お母さんどうなすつて？」

と思はず聲をはずませて云つた。

「縫ちやん。首切られてしまつたんだよ」

「えつ！　お母さん本當！　何か落度があつて解雇なんかしたんでせう。譯を聞かせて」

「私は口惜しいよ。五十を少々過ぎたばかりにさ。年寄りはもう働けないと云ふ口實なんだよ。それに解雇手當は一文も出さないんだもの。縫子、貧乏人は情ないよ。それにだまつて止さなければならないからねえ」

やがて長嘆息の後に

「あゝ情ないねえ。どうしやう！」

と母子は固く相擁して泣き崩れてしまつた。おゝ貧しき母子の上に再び光明は照らざるか？　げにこの世の中の不合理は、何時の世に改革されるであらうか？　理智に富める彼女の頭に、富める者に對する恨みの念は見る〳〵中に潮の如くもり上つた。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF IOWA

ゐる。炎天にいりつけられる農民も、機械に驅使される勞働者もすでに、生産階級の共同の戰列の上に巨腕を組んで起ち上りつゝある。この山梨全縣下には早く農民組合の種子は蒔かれて、小作爭議戰に、選擧戰に歩一歩と敵の牙城を陷れつゝある。

……〇……

一年振で常永村の臼井たけじ氏を牧舍に訪ふた。常永組合婦人部の中堅である。こないだの田植の時は本當に愉快でしたと話し出されたのは次の話。

……隣村の玉幡村は、地勢の工合

「では私。明日からでも學校を止して工場で働きますわ。お母さんの代りになつて……。だからもう心配しないで下さいね」

あゝ十四の少女よ。憧れ多き年頃なのに、健氣にも汗と埃と機械の中に自ら突進する彼女こそ、我等プロレタリヤの痛ましい犧牲なのだ。資本家は我儘勝手だ。無産者はいゝ様にいぢめられてゐるのが今の世の常だ。金！　金なるが故に全ての屈辱を忍んで居なければならないのだ。

しかし／＼我等の力は弱けれど、一たん團結ならば、壓迫ものかは、ようし！　縫子は組合に入つて、勞働運動の第一線に立つて、眠れる隣の人をさましてやらなければならないと思つた。折柄月は雲間から皎々と照り輝いた。彼女の前途を祝福するかの如くに……。

勞働小品

街の灯のかげ

紡織橋場支部
……田邊さと……

で水を引くと一勢に苗を植えつけねばなりません。ですから人手が足りないので、私の村の婦人部は大學して應援に參りました。百五十人の者が揃ひのいでたちに揃ひの菅笠、先頭に組合旗を押し立てゝ、二里の道を急いだのです。向ふにつくと、屋根の上の櫓高く、「社民黨山梨聯合會」の白い幟が飜つて居るではありませんか。そして櫓には白い握り飯を結ぶ玉幡婦人部の姉妹の顏。私共は萬歳を叫んで一齊に仕事にとりかゝつて、瞬く間に植えつけを終りました。何と胸のすくそして羨ましい話ではあらう。（つゞく）

なぜか今夜にかぎつて街の灯が戀しい。かまはないいつて來よう。用もないのに明るい通をぶら〳〵時計店の中をガラスごしにのぞきこみながら、なをも歩をはこんでゐた。

「さゝ二品なんでも十五錢だ買いな〳〵」

「五十錢！　エーツまけちまへ四かんだ！」

叩き賣りのバナ、やは聲を嗄して叫んでゐる。

「さゝどこにもあるといふ品じあない。金のある者は買つて行きな」

雄辯をふるつて人々を集めてゐる古る着屋。集まる人々は金のなさそうな人達ばかりだ。

「うで卵一ツ五錢」漆い桶の上にこんな字を書いた札をたてゝ、ねむそうな目をしばたゝかせながら通を行く人々を見つめてゐる玉子うりの老婆。あゝだがなんと皮肉だろうか。此んな貧しい夜店あきんどとむきあつてならぶ宏荘な家。モダンなデパート。カフエー。大きな時計店だ。あゝ食はんがため生きんがための激しい爭が、大都會の中央の此の銀座の街においても演じられておるのか。あゝそうだ。生きんがために私も戰をう。社會の荒浪と！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

組合旗の下に

僅か三日の罷業で大勝利

……大阪紡織天滿支部

深夜業廢止の光明は、かへつて賃銀低下の暗黒を齎し、紡織勞働者は一齊に、廢止の喜びもなく、賃銀引下げを防衛し戰はねばならなかつた。大阪天滿工場一千人の從業員は六月二十五日歎願書を出し二十七日回答拒絶に會ひ、更に八名の首切りを言渡して來たので、改めて要求書をたゝきつけ、又もや拒絶されたので、遂に總罷業の幕は切られ一人の落伍者もなく四貫島セッツルメント外四ケ所に引上げた。二十九日天王寺公會堂に會社糺彈演説會を開く等、結束を固めた。それに恐れをなした會社は急に七月一日我を折つて、交渉に入り左の如き紡織爭議に於ては未曾有の有利なる解決を見た。

生活記錄

貧しき妻の思へる

勞働婦人聯盟關西本部　池田はな

結婚を私共がいたしましてからもうかれこれ十年足らずの日が流れてゐますが、その間たゞの一日も足腰のばしてヤレ〳〵と體を休めた日がございません。夫は勞働運動者として三百六十五日を夜に晝に間斷なく戰ひ續けてゐますし、私は貧しき、ひもじい家計の無理算段と子供を育てることで毎日綿のやうに疲れてをります。その十年間の結婚生活中、終始一貫して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

一、就業時間は要求通りにする事
一、收入を減ぜさゝざる事（夜勤手當を入れて）
一、手當を本給に繰入れる事
一、交代日出勤の時は代休を與へる事
一、賞與の支給は公平に行ふ事
解雇者八名を出したるは止むを得ざるも、手當二千八百圓を取り爭議中の日給は六分、爭議費用三千圓を支給せしめた。かくて一日午後五時扇町公園に全員集合し、山口正義氏の激勵の言葉に送られ萬歲歡呼の裡に整然たる入場式を行つた。

第三回支部總會

▲……紡織橋場支部　六月卅日正午より總同盟千住出張所にて

深夜業廢止後の諸問題をひかえた折柄、全支部員の緊張裡に議長吉田祐太郎氏の下に總會は開かれた。主なる議案は

一、深夜業廢止に依る工賃低下反對の件　佐藤かつよ
一、退職手當制定促進の件　古畑豊治
一、寄宿女工が結婚したる場合、通勤許可に關する件　石井ふみ
一、組合員の差別待遇に關する件　飯野金次

總同盟歌合唱、新らしき鬪ひを誓つて散會。新役員左の如し

支部長古畑豊治　副支部長阿部篤治　幹事長吉田祐太郎　會計佐藤悦優

私の頭を完全に占領してをります事柄は、夫をどうしたら後顧の慮ひ（家計のこと、子供のこと）なしに安心して解放戰上で心行くまで鬪はすことが出來るか、貧しさ、ひもじさからどうしたら家族がのがれることが出來るか、子供を將來、頑とした鬪士とするにはどのやうに敎育すべきであるか、大體要點をあげれば、それ等のことがらでございますが、かなり長いその年月の間に體驗したこと感じたことをあげれば、胸に山のやうに積つて來ます。

せめて忙しい主婦の暇をぬすんで之等のことを書いて何かの御參考

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

尚多數の婦人幹部も選出された。

靜岡地方の組織進む

▲……紡織沼津第二支部發會式

紡織沼津支部の同志の鐵の如き組織熱は、玆に沼津第二支部の發會を見るに至つた。東京麻糸株式會社沼津工場一千人の從業員は、奮勞農黨及御用團體の組織を一蹴して、七月七日、市外下石田耕雲寺にその第一聲を上げた。終りて演說會は、沼津支部野瀨きく子、櫻井忠義、日本縫工組合砂塚よし子、富田繁造、德永正報、福岡金次郎の諸氏により大なる効果を與へた。因に新役員は、支部長山田重太郎　副支部長高津衆三　幹事長堀住久吉　會計小野英吉　山川加眞　の諸氏を選出した。

深夜業廢止紀念祝賀會

▲……七月七日午後二時より　東京親隣館に於て勞働婦人聯盟
社會民衆婦人同盟主催

勞働婦人運動のページに、歷史的な記錄を殘す深夜業の廢止を紀念し、更に殘された諸問題の研究に集る者五十名、意義深き會合であつた。

富士紡工場に又支部結成

にしてみたいと此頃しきりに努力してをります。きつと何時かの時に皆様によんで頂く時があることで御座いませう。

最近勞働運動者の妻として母として疲れた頭と疲れた手でどうかこうか三十一字にならべた拙い歌が出來ましたからお目にかけませう

▲　▲　▲

人の世に搾取てふことなかりせば
罪も盗みもなからんものを

此の貧苦夫に見せじな見せまじな
子等のことゞも案じ給へば

すや／＼と寢入りし吾子を見入りつゝ母は祈りぬ鬪士になれよと

何やらん夫に淋しき影をみる
彼の同志の裏ぎりし日に

いくつ寢て正月來るやと子に問はれ晴着もなきを母は嘆きぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

▲……紡織保土ケ谷支部

七月十日午後七時より、横濱市保土ケ谷區大弓場に於いて、富士ガス紡績保土ケ谷工場四千人の從業員解放の爲の陣營は産聲を上げ、同系支部の川崎支部と相呼應しつゝ戰線に立つた。支部長齋藤勇氏、幹事長荒木三男三郎氏である。

料理講習會の好況

▲……紡織川崎支部

毎週金曜日午後五時から六時迄時事問題の研究會をして、續いて料理講習會に移る。講師は、中央合同司厨第一支部の組合員が適切に熱心に當つてゐられる。時節向の料理が、手輕に安價に出來るので、家庭婦人も又婚期前の若い組合員も興味深く講習してゐる。

英語講習會を開く

▲……日本絡工組合

生花講習會時事問題研究會に併せて又、英語講習會を七月八日から開く事になつて、教育部は活動してゐる。毎週火曜日、講師は東京親隣館の津田正夫氏、講習生は男子二十八人、女子二十三名である。

勞◇働 笑◇話

野瀬菊子

資本家の子『僕んちのお父樣は、會社へ出る時は威張つてふんぞり返つて行くよ』

勞働者の子『へん。おれんとこのおつとつちやんだつて豪いや。組合の大會でふんぞりかへつて演説をしたぞ』

◈

金井しげ子

裏長屋の夕方『こう蚊にさゝれちやあやりきれねえ。働きに出りや資本家(蚊)と云ふ蚊に吸ひ取られるし……』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

小説

最後に勝つ者

製綱労働組合小倉支部
川原いその

「お父さん私今日からお父さんの會社で働かして下さいね。お願します」

父は驚いた。

「何何んだ？　働く？　馬鹿な！　お前の様な者が働く處ぢやない。何故だ馬鹿な！」

「いゝえ〳〵。私でも働けますわ。働かして下さいお父さん」

道子は眞面目だつた。

「今日は何故そんな事を云ふのだ。このお父さんには金があるからお前は働かないでもいゝよ。あれは金のない者が働く處なんだ」

でも道子は負けて居なかつた。

「金はあつても私は働きます。あの美那子さんだつて働いて居るわ。だから私だつて〳〵働けない事はないんですものね。許して下さい」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

「でもよう考へて見い。あんなひどい勞働をお前が出來る譯は無いではないか？」
「でもひどい勞働をしたら、それ丈お金を頂けばいゝわ。だけどそれ丈仕事をしてもお金が譯山頂けなかつたら、やつぱりお父さんが考へなければいやよ」
「何？……」
今の総の言葉はどれ丈父の胸にこたへたらう。
……あゝそうだ〳〵。時世は進んで居るのだつた。この娘でもこんな頭を持つて居る。其父たる俺は、あゝ馬鹿だつた。馬鹿だつた。今の自分は八百の職工を泣かしてそれで安閑として居たのだ。この俺としても馬鹿ではなかつたのだつたが、金の爲に馬鹿になつて居たのか」
彼はめまいがした。何にも解らなくなつた。

×　　×　　×

困難な三週間後、Y會社も又元の平和に立歸つて居た。大煙突から空中へはみ出す黑煙は平和の煙だつた。從業員一同は勞働組合員となつて新らしき組織が出來た。無産勞働者に理解ある細田道子は一事務員として働いて居た。石工屋の態さんも、細田社長の有利な辯護の爲減罰され、茂平爺さんは相變らずコツコツと仕事に余念がない。床屋の長さんは五錢散髮料を値下して無産者の爲に盡した。兎も角長屋にも大風が去つて和かな春は訪れた。日ならずして下水道や長屋の改革等もやると云ふ。

B町も平和な町になつた。美那子は幸子と共に來るべき第一回のメーデーの歌を口ずさみ乍ら、楽しく會社へ通ふて居た。何と生々した勞働行進曲よ！　彼女達こそ、神聖なる勞働の最後の勝利者であつた。（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

日本勞働會館は我等の手で！

會館建設寄附金 第十回報告

前月越高 二萬三千八十五圓八十三錢也
本月受高 七百四十圓十錢也
累計 二萬三千七百八十九圓九十三錢也

（氏名詳細日本民衆新聞參照）

我等の新聞を讀みませう！

日本民衆新聞
社會民衆新聞
（一部各五錢）

勞働婦人も勞働學校へ！
九月十日より新學期始まる

大阪勞働學校
第二十二期生徒募集
唯物史觀 森戸辰男
經濟學 齊藤廣
勞働法制 田万清臣
毎週 月、水、金
午後七時より二時間
申込は
大阪市此花區吉野町
一ノ三六
大阪勞働學校

消費組合の話（一部十錢）

勞働歌集（一部十錢）

本部婦人部より

◈「勞働婦人」の出來工合について、惡い所、善い所、あゝして欲しい、こう云ふ風にと、皆樣の御考を聞かして下さい。御友達ともよく話し合つて、その意見をありのまゝ御知らせ下さい。私達の「勞働婦人」を讀みごたへのある本に致しませう。

◈炎熱八月、ひたすら姉妹の健康を祈つてやみません。

昭和四年七月廿九日印刷
昭和四年八月一日發行
定價二十錢

編輯兼發行者 東京府荏原郡荏原町戸越四八九 松岡駒吉
印刷者 東京市芝區南佐久間町一ノ三 和田操
印刷所 東京市芝區南佐久間町一ノ三 和田印刷所

第二十一冊

發行所 東京市芝區三田四國町二 日本勞働總同盟本部
電話三田〇四三六番
振替東京三一五七番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA